

知事記者会見の概要

日 時：令和2年4月9日(水) 15:35～15:48

場 所：記者会見室

出席者：知事、健康福祉部長、医療統括監、秘書課長、広報広聴推進課長

出席記者：18名、テレビカメラ7台

1 記者会見の概要

広報広聴推進課長開会の後、知事から1件の発表があった。

その後、フリー質問があり、知事等が答えて閉会した。

2 質疑応答の項目

発表事項

- (1) 県内における新型コロナウイルス感染症の確認事例について（第23～27例）

フリー質問

- (1) 発表事項に関連して

<幹事社：河北・共同・TUY>

☆報告事項

知事

県内で23例目から27例目までの新型コロナウイルス感染者が確認されましたのでお知らせをいたします。普段マスクをしておりますが、もっと大きな声でというような声も聞こえてまいりましたので、ちょっと発表の時だけ外させていただきます。

感染者23の方は、20代の男性で、鶴岡市にお住まいの方です。4月3日に37度台の発熱がありました。医療機関①を受診しました。4日、5日も発熱があり、5日には味覚障害がありました。行動歴、濃厚接触者につきましては、現在調査中です。現在、庄内地域の医療機関に入院中です。この方は、感染者13の友人です。

次に、感染者24の方ですが、50代男性で、高畠町にお住まいの方です。4月1日から倦怠感があり、5日に37度台の発熱、6日に38度台の発熱があったため、医療機関②を受診しました。行動歴、濃厚接触者については、現在調査中です。現在、感染症指定医療機関に入院中です。

次に、感染者25は、80代男性で、高畠町にお住まいの方です。4月8日に38度台の発熱がありました。行動歴、濃厚接触者につきましては現在調査中です。現在、感染症指定医療機関に入院中です。

次に、感染者26は、70代の女性で、高畠町にお住まいの方です。4月1日から喉の痛みと咳があり、3日に医療機関③を受診されました。行動歴、濃厚接触者につきましては、現在調査中です。現在、感染症指定医療機関に入院中です。

なお、感染者24、25、26は、先に公表しております、感染者15のご家族です。

最後に、以上のほか、もう1件、27例目として、20代女性で山形市にお住いの方の感染が判明したと聞いております。詳細につきましては、山形市から発表があるものと思います。(補足：山形市内の確認事例については、保健所を所管する山形市で調査を行うため)

また、4月は県外からいらっしゃる方が多く、市町村の窓口で転入の手続きをされますので、新型コロナウイルス感染拡大防止のためのお願いと相談窓口をお知らせするチラシを作成いたしました。そして、県内の各市町村にこれを渡していただくよう、県外からいらっしゃるので、転入者の方に渡していただくようお願いをしたところです。すでに一部の市町村では今日からですね、窓口で配布をしていると聞いております。はい、これです(補足：フリップを指示)。35市町村の窓口をお願いしております。

本当に、9日連続で感染が確認されておまして、本当に県民の皆さんも大変驚かれていますと思っておりますが、やはり、不確実な情報というものに惑わされないで、落ち着いた行動をお願いしたいと思っております。そして、基本ですね、やはり丁寧な手洗いと咳エチケット、これが感染予防に大変基本的な効果があると聞いておりますので、しっかりとこれを引き続き行っていただきたいと思います。それとともにですね、3つの密、密閉、密集、密接、これをですね、避けるようお願いをしたいと思います。

この難局を乗り切るためには、県民の皆様お一人お一人の、やはり意識とご協力が不可欠でございますので、ぜひよろしくお願ひしたいと思っております。昨日も申し上げましたが、さらに次の4点について、ご協力をお願いいたします。

1点目は、県外との往来を控えていただきたいということです。「緊急事態宣言」の対象区域がですね、7都府県を対象としておりますけれども、特にその7都府県との往来は、くれぐれも控えてください。出張や研修なども、当面の間、見合わせいただきたいと思っています。

それから2点目ですが、法要などの様々な行事があると思いますが、それについて当面の間、県外からの参加は見合わせていただきたいと思っています。

3点目ですが、県内でも、生活するうえで必要なものを除いて、不要不急の外出はできる限り控えていただきたいと思っています。昨日はですね、その外出に不要不急の外出に入らないということで、散歩ですとか通院、出勤もですね、あとジョギングとかウォーキング、そういったことは大丈夫だというようなことであります。3密をくれぐれも避けてやっていただければと思います。それからですね、3点目なのですけれども、若い方からご家族や周囲の方に感染しているという例が多く見られますので、特に若者の皆さんにはご自分の健康並びに周りの方の健康も考えていただいて、大変影響が及ぶのだというようなことも考えていただいて、慎重な行動をお願いしたいと思っています。外出の中の特に若者の皆さんにということで申し上げました。

4点目ですけれども、県外にいるお子さんやご家族など、いらっしゃると思います。当分の間、山形にいらっしゃる、来県をですね、控えるようにご家族の方からお伝えいただきたいというふうに思います。また、すでに県外から来県された方もいらっしゃるかと思います。そういう方にはですね、2週間程度、自宅待機や在宅勤務といったことを工夫して、外出を控えていただきたいというふうに思います。

これ（補足：フリップを指示）を見ますと、この5番目のところに、県外、特に緊急事態宣言の対象となった感染拡大地域から転入された方は、健康観察のため、2週間の自宅待機、在宅勤務などをお願いしますというふうに、注意喚起とお知らせの中に書いてございますので、ぜひお願いしたいと思っています。

本当に、政府が緊急事態宣言を発令されて、全国もですね、一致団結して取り組むということが一刻も早くコロナ撲滅につながるのだと思っていますので、そのためにも、県民の皆さん、お一人お一人がやはり、強く意識を持っていただいて、行動をですね自粛していただければと思っていますので、よろしくお願いしたいと思っています。

また、入院されている方が増えておりますけれども、入院されている方々の、一日も早い回復と、日常生活に復帰されることを心から願っております。私からは以上です。

☆フリー質問

記者

読売新聞の八木と言います。今回、県庁所在地の山形市でも、今まで出ていなかったのですが現れたということで、知事の受け止めをお伺いしたいのですけれども。

知事

そうですね、山形市は25万人という人口でありまして、107万人のうちのだいたい4分の1です

から、県民の4人に1人が山形市民ということであります。そこで、おそらく山形保健所、中核市となりましたので、保健所もお持ちでいらっしゃると思います。そこで初めて確認されたということは、最も人口が多いところで確認されたということで、さまざまな行動についての自粛というようなことがおそらく市長さんのほうから出されるのではないかなと思っています。山形県の中で最も都市部にあたりますので、ぜひそこでこれ以上感染が拡大しないようにということを願っておりますし、本当に連携してしっかりと取り組んでいきたいというふうに思っております。

記者

続けてなのですけれども、さっき転入の話もありましたけれども、引っ越しシーズン、ちょっとピーク過ぎているかもしれないですけども、転入される人には、これは2週間の待機というのは求めるものなののでしょうか。市役所とかの手続きとかがあると思いますけれども、その辺はいたしかたないというような感じなののでしょうか。

知事

そうですね。転入手続きに行かれた時にこれをお渡しするわけですから、本当はもっと早くからお知らせできればと思うのですけれども、なかなか県外となりますと、どういうふうに、どういう方にお知らせしていいかというのもちょっと、なかなか大変なのかな、全国を対象にということになりますから、これはおそらく、やっぱり全国知事会を通してですね、政府のほうからしっかりと全国に対してそういったことを要請してもらうというのが一番やはり、わかりやすいのかなと、皆さんに届くのかなと思います。

記者

山形新聞の佐藤と申します。今日の感染者の方の第23例目の方が、現在の状況についてなのですけれども、庄内地域の医療機関に入院中ということで、おそらく山形市の事例が詳しく出ていないので何とも申し上げられないのですけれども、感染症指定医療機関以外の医療機関に入院されたのは初めてのケースなのではないかなというふうに思うのですが、これは、たとえば狙いと言ったらあれですけども、どういった意図と言いますか、感染症指定医療機関のいわゆる、病院間の機能分担ということになるのでしょうか。

知事

そこまでの細かいことについては、ちょっとお聞きしておりませんので、その方の勤務先が近かったのか、それについては調査中ということになっておりますけれども、後ほどまとめてお聞きになっていただければと思います。

記者

はい、ありがとうございます。